

社会

社会科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア 知識及び技能	イ 思考力、判断力、表現力等
・資料から必要な情報を読み取り、まとめること	・社会的事象について考えたことを、説明すること

	児童・生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証（2月）
中学年	<ul style="list-style-type: none"> ・地図帳や各種の具体的な資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能に課題がある。ア ・社会的事象について、相互に関連付けて考える力に課題がある。イ ・学習したことを自分の生活と関連させて考えたり、自分にできることを想起したりすることに課題がある。その他 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が読み取りやすい資料を準備し、全体で読み取り方やまとめ方を確認する活動を取り入れる。 ・複数の事象を関連付ける機会を増やし、図などに示す活動を設ける。 ・単元の中で自分事として捉える課題を設定し、主体的に考えられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎単元 ・毎単元 ・毎単元末 	
高学年	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の国土利用や歴史に関する言葉の知識習得に課題がある。ア ・社会的事象について学んだことを基に考え、表現することに課題がある。イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の始めの5分間又は終わりの5分間に、ワークシートやクイズに取り組む機会を設け、知識の定着を図る。 ・学習した内容を生かす時間を設定し、感染対策を講じてグループで対話するなど、学習過程を工夫・充実する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎単元 ・毎単元末 	

<p>■「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について</p> <p>タブレット端末を用いて配布された資料を、児童一人一人が手元で操作しながら情報収集をしたり、思考したことや理解したことを、タブレット端末を使用して共有したりする時間を設定する。</p>	<p>■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について</p> <p>単元を通した学習問題を作成した後、予想をもとに、学習計画を作成し、最後に学んだことを振り返る時間を設定する。いくつかの単元の中で、自分の生活や地域と関わりのある事柄について調べたり考えた</p>
--	--

りする時間を設ける。